

お米に関する 重要な お知らせ

東都生協共同購入事業部・商品部
2024年9月2日発行
お問い合わせ 0120-1010-68
平日・祝日 9:00~18:30 (土日休業)

重要!

いつも、東都生協の商品をご利用いただきありがとうございます。
この間の全国的な米の不足の情報に加えて、南海トラフ地震臨時情報を受け、お米の注文が急増し、通常の2倍から3倍近い注文数になっています。そのため、東都生協が産直米として年間契約している重量を超過する可能性が高くなっています。

主食であるお米をより多くの組合員にお届けするために、今後のところで受注制限や代替品種での供給、規格変更などで対応させていただきますことご了承ください。最終的に注文に応えられない場合は欠品となりますが、そのような対応を避けるためにも、必要以上の注文をお控えいただきますようお願いいたします。

今後想定される対応とお願い (以下了承の上、注文願います)

- 注文点数制限 9月2回から当面の間、1人1点までとさせていただきます。
- 代替品種でのお届け 在庫がなくなった場合は他の品種でお届けすることがあります。
- 規格変更でのお届け 5kgを2.5kgなど、規格を変更してお届けすることがあります。
- やむを得ず欠品 上記対策を実施した上で不足する場合は欠品となることがあります。
- みんなでシェアできるよう、必要量以上の注文は控えてください(下段:おいしく食べられる期間)。
- 注文できるのは自家消費分だけです(組合員が組合員以外へ販売することはできません、生協法)。
- 登録米の新規登録、および数量追加の変更は受け付けておりません。

産地直結の東都生協のお米(産直米の仕組み)

東都生協では、産直産地との間で品種ごとに組合員が年間に必要なお米を確保しております。そのお米を組合員がみんなで1年かけて少しずつ消費しています。2023年産米は前年の実績をもとに約3,400玄米トン(うち、登録米として約700玄米トン)を契約しており、精米卸でも在庫をしっかりと確保しています。この重量には新しい仲間(新規組合員)が例年の割合で新たに注文する量も含んでいます。

通常の消費量(注文数量)であれば、東都生協の組合員のお米が不足することはなかったのですが、ニュースなどの影響で、注文が殺到し、また、過剰ストックともいえる購入も見られ、組合員全員のお米を先使いしている状況です。契約分は確保していますが、それを超える分については、産直産地であっても追加の手配は困難です。産直米の仕組みを知っていただき、必要量を注文いただければと思います。



みんなのお米!

お米の消費量って…

1人あたりのお米の消費量は平均で月4kgほどです。その内、家庭内消費は3kg(他は外食、中食)。

新米は9月中旬から10月にかけて出回ります。

差し当たって必要なお米は1人あたり2~3kgです。

■3kgのお米って茶碗何杯?

1合150gですので、

3kgのお米は20合です。

ご飯茶碗40杯にもなります。



9月中は、うどん食やパン食を織り交ぜながら、少しでもお米の消費を抑えていただければ幸いです。

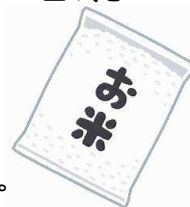
お米は『生鮮食品』です

精米したお米は野菜と同じ生鮮食品です。お米のおいしく食べられる期間は、夏場で2週間、冬場で1ヶ月とされています。さらに保管場所の温度や湿度によっては品質が大きく変わります。

また、米袋には破袋を防ぐために空気を抜く穴が開いています。

そのため、夏場の保管場所の環境によってはカビが生えやすくなります。

精米の長期保存はできません。



各産地からの情報によると、今年の新米は順調に生育しているとのことですよ!